

# 表紙絵の解説

題名：秩父妙法岳 作者：宇佐 侯哉

以前制作した木版画をもとにデジタル製版で孔版画に仕立てました。

1. 木版で刷った原画をハガキ半分サイズに縮小コピーする。
2. コピーしたものをデジタル製版機で孔版原図を作成する。
3. プリントゴッコのインキと顔彩絵具しか手元になく、押圧でインキを押し出して刷る。単色で位置合わせも不要なので1版です。

4月号の表紙絵は  
小野原さんです

## 4月の研究会 予定


日時：4月14日(日) 会場：新富区民館

◆午前・午後の部 (10:00～15:00) 指導：田中  
テーマ：正しいステンシルの技法  
本来のステンシルを丁寧に時間をかけて詳しく実技と解説をします。  
皆さんにもカッティングを実習していただきます。  
用意する道具：デザインカッター、カッティングマット

◆孔版画展の案内状配布

◆一筆箋のカット(原画)提出  
孔版画展で販売する一筆箋のカットに使用します。過去に制作した作品及び新作の作品を縮小して印刷します。サイズはハガキ程度。

安田さんの作品を一筆箋にしたサンプルです。



### ●孔版画展作品づくりの教材入荷

作品づくりに必要な教材は4月8日(月)までに事務局へ連絡ください。

- ・スクリーン原紙(ダイヤモンド原紙に代わるもの) 30×45cm 1枚 90円
- ・コースタ(白) 8.5cm角(角丸) 20枚入り 240円
- ・コロジオン原紙、刷り用紙(寸法各種)・その他問い合わせください。

4月14日(日)の研究会に持参します(担当：三井)

# 3月の研究会 報告

## ◆午前の部 (10:00～12:00)

・今月の表紙絵の制作プロセス解説(鈴木)  
表紙絵の解説で「横一線の山のラインで絵の内容をマルマル表現できないものか？」の意味が理解できずにいましたが、ラインの太さに秘密があることを解説して頂いて納得。また、写真をしている鈴木さんならではのトリミング法を山のラインに応用したりまた、つくしでの高低差や遠近法の表現。空の微妙なグラデーションは一刷りごとにローラで色を調整しているのには驚きました。さらにタンポでレモン黄を加えるなど、聞いて見なければ解らない作品へのこだわりや苦勞を聞いたことは大変に意義のあることだと思いました。この企画はとても良いことだと感じました。



## ◆午後の部 (13:00～16:00)

・黒艶紙作品に挑戦「作品交換&技法解説」  
嘉部先生から頂いた黒艶紙に刷る宿題の披露と解説です。黒川さんからは、試験的に中性インキ、平版インキ、油絵の具の白単色とそれぞれにチタニウムホワイトの無機顔料(粉末)の白を加えて刷った白の色具合を見せて頂きました。また、三井さんからも苦勞話と作品を披露して頂きました。



左から松本さん、三井さん、田中先生、黒川さんの作品

